平成22年度 決算概要

一般会計 歳入歳出決算の概要

平成22年度の松田町歳入歳出決算について、平成23年第３回町議会定例会で認定されましたので、その概要をお知らせします。

一般会計の歳入総額は39億3,993万円、歳出総額は37億2,922万円で、歳入は前年度比で△4.7%、歳出は△5.6%と歳入歳出ともに前年度を下回る結果となりました。町の歳入の根幹である町税においては、雇用情勢の低迷による個人所得の減少の影響などにより、前年度比3.4%の減となっています。歳出では、緊急雇用創出事業による失業者の雇用促進事業を実施したほか、投資的事業では、平成21年度から継続する国のきめ細かな臨時交付金や経済危機対策臨時交付金等を活用した事業を中心に実施しました。また、平成22年度当初予算額（37億円）と比較しますと、歳入は6.5%、歳出は0.8%の増額となっています。これは、平成22年度に国からの地方交付税や繰越金等の歳入が増えたことに起因しています。

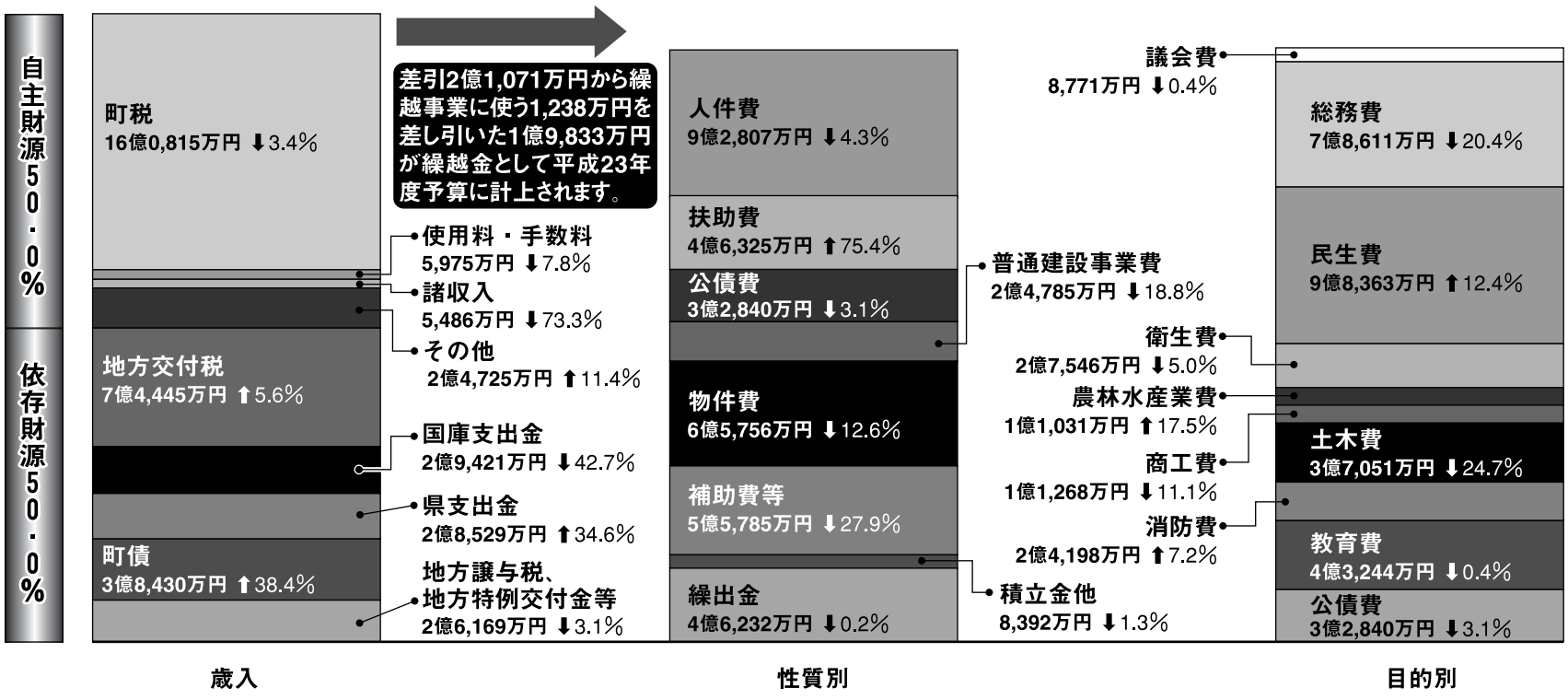
決算とは

１年間の町の財政計画であると同時に諸政策を定め、毎年４月号でお知らせしている［予算］に対し、実際にお金がいくら入り（歳入）、何に使ったのか（歳出）をまとめたものが、［決算］です。

町の決算は、年度終了後、監査委員の審査を受けた後、議会で承認を受け、確定します。

歳入総額 39億3,993万円
前年度比 4.7%減

歳出総額 37億2,922万円
前年度比 5.6%減



＊⬇⬆は前年度比を表しています。　＊金額は１万円未満を四捨五入しているので合計値が一致しない場合があります。

平成22年度歳入の決算と目的・性質別決算について

［歳入］

平成22年度一般会計歳入決算では、自主財源の町税が減となったほか、諸収入が73・3%減となりましたが、これは、平成21年度に計上された町土地開発公社の解散による清算金がなくなったためです。また、依存財源の国庫支出金の減については、当初予定していた国庫補助事業である新松田駅南口駅前広場整備事業が翌年度に繰越されたことにより、平成22年度に収入されなかったためです。34・6%増の県支出金については、緊急雇用創出事業の増加によるものです。

［目的別決算］

目的別決算とは、支出を行政目的によって分類したものです。平成22年度の目的別決算では前年度に比べ、民生費（福祉に関する経費）が12・4%増となりました。これは子ども手当制度の開始に伴い、事業費が増加したものです。また総務費（全般的な管理経費）は前年度に比べ20・4%の減となっています。これは定額給付金支給事業が前年度限りの事業であったため、減額となっているものです。その他には、農林水産業費（農林業等の振興に使われる経費）や、消防費についても増額となっておりますが、これらはドッグラン整備事業や第三分団詰所建替事業の普通建設事業等によるものです。

［性質別決算］

性質別決算とは、支出を経済的性質に基づいて分類したものです。平成22年度の性質別決算では、扶助費が前年度に比べ、75・4%増加しています。これも目的別決算の民生費と同様、子ども手当制度の開始に伴うものです。その他の事業については、定額給付金支給事業の終了、新松田駅前広場整備事業の繰越しにより、減額となりました。

繰越明許事業について

繰越明許とは、その性質や予算成立後の事由により、年度内に支出が完了しない事業について、議会の議決を経て翌年度に繰越した事業です。平成22年度における繰越明許事業は新松田駅南口駅前広場整備事業や、国からの交付金を財源としたものです。

繰越明許事業一覧

事業名	繰越額
子ども手当システム改修事業	263万円
道路補修事業	2,475万円
新松田駅南口駅前広場整備事業	2,874万円
小学校図書購入事業	72万円
中学校図書購入事業	62万円
図書館システム整備事業	1,273万円